

**東日本大震災 復興元年** ▶▶▶**東日本大震災 ～ 復旧・復興に向けて ～****がんばろう！東北**

東日本大震災（平成23年3月11日14時46分発生）から10ヵ月が経過し、現在、東北地方整備局では本格的な復旧・復興に向けて、昼夜を問わず鋭意作業中であります。

東北建設協会といたしましても、発災直後から防災エキスパート、東北建設協会職員、全国弘済会・協会職員等による被災状況把握や災害復旧支援等の活動を行い、現在は東北の復興に貢献するための産学官が一体となった支援事業等に取り組んでおります。今日まで取り組んできた主な事業等をご紹介します。

なお、今後も調査研究態勢の拡充を図り、東日本大震災に関する支援事業を幅広く、かつ継続的に取り組み、東北の復興に貢献していく所存でありますので、会員の皆様方のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

項 目	実 施 内 容	備 考
防災エキスパート 支援活動	「四国防災エキスパート現地調査・意見交換」 <目 的> 過去幾多にわたり広範囲で甚大な被害をもたらしてきた東海、東南海、南海地震等の海溝型地震や東京を直撃する直下型地震といった巨大地震は、過去の発生周期を踏まえ、その切迫性が高まっているため、東日本大震災地の現地調査及び支援活動の体験等について意見交換し防災対策の研鑽を高めた。 <実施日> 平成23年12月1日(木)、2日(金) <参加者> 四国地方防災エキスパート19名(四国建設弘済会含む) 東北地方防災エキスパート 4名(東北建設協会含む) 東北地方整備局 防災対策官 <内 容> ・ 現地調査(女川町、石巻市、仙台平野) ・ 意見交換(整備局震災対応報告、支援活動マネジメント、体験談等)	写真-1
	「地域貢献」 <目 的> 柴田町図書館まつり行事の一環として東日本大震災被災前後写真及びだいち衛星画像を展示し震災体験を風化させないように啓発活動を実施。 <実施日> 平成23年11月5日(土) <内 容> ・ 被災前後写真パネル展示 ・ だいち衛星画像被災前後展示	写真-2

項 目	実 施 内 容	備 考
防災エキスパート 支援活動	<p>「防災エキスパート体験談報告」 <目 的> 東日本大震災復旧、復興に向けて東北地方整備局幹部へ防災エキスパート他(萩交会)により報告会を実施。 <実施日> 平成23年12月5日(月) <参加者> 東北地方整備局幹部、防災エキスパート他(50名) <内 容> ・ 防災エキスパート体験談報告(2名)</p> <p>「防災対策講演会」 <目 的> 我が国は、地震、津波、火山噴火、風水害、雪害等、世界でも有数の多種多様な自然災害に見舞われる国土の上に成り立っており、過去幾多の災害被害を教訓に災害の予防、応急対応、復旧、復興の各段階での災害対策を強化することにより、災害被害を軽減する取り組みが進められてきた。その一方で、今般の東日本大震災のように海溝型巨大地震である東海・東南海、南海地震等切迫性が指摘されているため、東日本大震災支援活動において防災エキスパートの教訓、反省等を踏まえ防災対策の研鑽を高めることを目的として開催。 <開催日> 平成24年1月16日(月)予定 <開催地> 大阪 <主 催> 近畿地方整備局、気象庁近畿地方気象台、(事務局/近畿建設協会) <参加者> 行政、防災エキスパート他300名予定 <内 容> ・ 東日本大震災支援活動マネジメントについて(東北建設協会) ・ 防災エキスパート支援活動について(東北地方防災エキスパート) ・ 台風15号による被害と対応(京都大学教授、近畿地方整備局)</p>	
東日本大震災 支援活動パンフ レット	地震概要や支援活動状況のほか、わかりやすい被災前後の航空写真を掲載したパンフレットを作成し、行政、全国の大学・各学会、マスコミ関係、民間、一般、海外等に配布。 [約1万2千部/H23.12月末現在]	写真-3
被災前後航空写 真パネル・だいち 衛星画像	被災地(主要箇所)における被災前後航空写真のパネル化及びだいち衛星画像の震災前後広域画像を作成し、産学官主催の震災関連行事や地域等において展示。 <主な展示先> 東北6県(東北地方整備局)、土木学会全国大会(愛媛県松山市)、全国マスコミ会議(河北新報社)、青森土木フォーラム(八戸工業大学)、土木の日記念行事パネル展(仙台駅構内)、柴田町、仙台空港、東京メトロ銀座線等。	
写真集「ふるさと 石巻の記憶」 編集協力	<事 由> ・ 東日本大震災支援活動パンフレットの反響 ・ 被災地からの被災前の写真要望 ・ 復興への希望 <内 容> ・ 被災前後の空撮写真集 ・ 平成23年12月15日(木)、三陸河北新報社より発刊 ・ 販売価格1,000円(売上の一部は義援金として寄付)	新聞記事
東日本大震災関 連支援事業	「東日本大震災における支援物資に関する報告会」 主 催：特定非営利活動法人ハッピーロードネット 開催日：平成23年 8月20日(土)、21日(日) 会 場：宮城県庁	

項 目	実 施 内 容	備 考
東日本大震災関連支援事業	「東北の社会資本整備講演会」～「東日本大震災」の対応について～ 講 師：徳山日出男 氏(東北地方整備局長) 主 催：東北建設協会 開催日：平成23年 9月29日(木) 会 場：仙台勝山館	写真-4
	「第4回 青森土木フォーラム」～災害とくらし～ 主 催：第4回青森土木フォーラム実行委員会 開催日：平成23年11月12日(土) 会 場：八戸工業大学 ※東北建設協会として被災前後航空写真等を出展し、ポスター展において最優秀賞を受賞。	
	「平成23年度 東北地方整備局広報講演会」～災害発生時のインターネットによる情報発信～ 主 催：国土交通省東北地方整備局 開催日：平成23年11月16日(水) 会 場：ハーネル仙台	
	「土木の日記念行事パネル展」～3.11 早期復旧への記録～ 主 催：公益社団法人土木学会東北支部、JR東日本 開催日：平成23年11月26日(土)、27日(日) 会 場：仙台駅2階コンコース ※被災前後航空写真パネル及びだいち衛星画像を展示	写真-5
	「専門紙との意見交換会(東日本大震災復旧・復興に向けて)」 開催日：平成23年11月25日(金)	
	「東北圏広域地方計画シンポジウム」～東日本大震災、被災地からの証言～ 主 催：東北圏広域地方計画協議会 開催日：平成23年11月28日(月) 会 場：日本教育会館一ツ橋ホール(東京都)	写真-6
技術開発支援	第三者委員で構成する「技術開発支援テーマ選定委員会(委員長＝遠藤孝夫・東北学院大学教授)」において、東日本大震災の復旧・復興に貢献する17テーマを採択。 (大学:4件、民間:1件、NPO:1件、大学連携2件、産学共同8件、産学官共同:1件)	
東北支部学術合同調査委員会	各学会東北支部の専門家により、被災状況の調査、被災メカニズムの解明を行い、東北地方の復興に貢献していく。(6学会東北支部・東北建設協会で構成) ＜報告会開催状況＞ ・ 第一次報告会(平成23年 4月28日開催) ・ 第二次報告会(平成23年 7月 1日開催) ・ 第三次報告会(平成23年 9月 2日開催) ・ 第四次報告会(平成23年11月4日開催) ＜委員会構成団体＞ 土木学会東北支部／地盤工学会東北支部／日本地すべり学会東北支部／東北建設協会／日本コンクリート工学会東北支部／日本建築学会東北支部／日本都市計画学会東北支部	写真-7
災害記録	大震災の体験を風化させないために、支援活動記録及び体験談、写真・映像記録等のとりまとめ、復旧・復興写真のモニタリング等を鋭意作業中。	



写真-1 四国防災エキスパート現地調査・意見交換
(12/1・現地調査/石巻市日和山)



写真-1 四国防災エキスパート現地調査・意見交換
(12/2・支援活動の意見交換会)



写真-1 四国防災エキスパート現地調査・意見交換
(12/2・震災対応報告/木村防災対策官)



写真-2 地域貢献
(11/5・防災エキスパートによる説明)



写真-2 地域貢献
(11/5・被災前後のパネル展示状況)

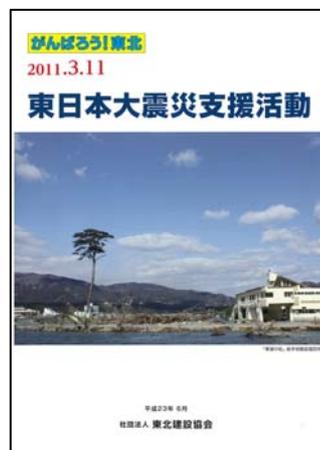
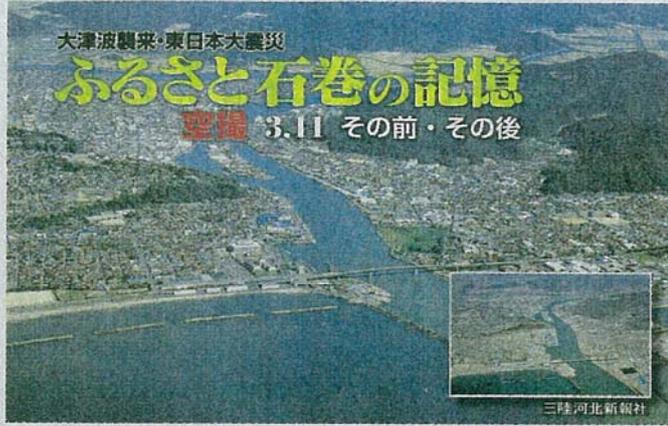


写真-3
東日本大震災支援活動
パンフレット

■ 河北新報 平成23年12月15日(木) 掲載

震災前後の石巻 空撮

三陸河北新報社 写真集きょう発売



三陸河北新報社は15日、写真集「大津波襲来・東日本大震災 ふるさと石巻の記憶 空撮 3.11 その前・その後」を発売する。震災前と震災後に、ほぼ同

じアングルで空から撮影した石巻地方の風景を紹介する。撮影地点は計29カ所。石巻市が門脇町・南浜町や石巻工業港周辺、石巻漁港、長面浦など21カ所、東松島市が鳴瀬川河口、野蒜地区、宮戸地区の3カ所、女川町が中心部や横浦など5カ所。

大型サイズで、上下に開いて震災前後の地域の姿を比べて見ることが出来る。かつての美しい古里を思い起こすとともに、津波の猛威を風化させないための資料となる。津波の高さ、浸水域を示した地図、最新の被災状況の数値も収録した。航空写真は社団法人東北建設協会（菅原政一理事長）が撮影。住民から「被災前の写真が欲しい」といった要望が寄せられていたことから、三陸河北新報社が協会の協力を得て編集した。売り上げの一部は義援金として寄付する。1000円。A3判、60ページ、オールカラー。購入は石巻地方の取扱店（書店など）、河北新報販売店へ。連絡先は三陸河北新報社事業部0222-5(96)03221。

■ 建設通信新聞 平成23年12月19日(月) 掲載

被災前後の空撮写真集発売



東北建設協会がデータ提供

東北建設協会（菅原政一理事長）が、東日本大震災の被災前後の空中写真データを提供した写真集『大津波襲来・東日本大震災 ふるさと石巻の記憶 空撮3.11 その前・その後』が三陸河北新報社から発売された。宮城県石巻市21カ所と東松島市3カ所、女川町5カ所の計29カ所の被災前後の空中写真が掲載され

ており、ふるさとの貴重な思い出や、津波の猛威を風化させないための資料として活用されそうだ。震災発生から時がたつにつれ、「流出する前の自分の家が写っている写真がほしい」といった被災者の声が同社発行の朝刊『石巻かほく』に多数寄せられたことから、岩手・宮城・福島3県の約180カ所の被災前後の空中写真を所有している東北建設協会の協力を得て編集した。同協会では6月に大震災への対応を記録したパンフレットを発行しており、岩手県宮古市から福島県相馬市にかけて撮影した沿岸部の被災前後の空中写真を紹介。この写真が反響を呼び、増刷を重ねてこれまで約1万2000部を一般・大学・関係機関などに無料で頒布している。今回の写真集への協力について同協会では「各地域の被災前の姿を見ることで、復興への希望につながると思いたい、写真を提供した。石巻地区以外の写真についても、要請があれば協力していきたい」としている。写真集はA3判の大型サイズで、上下に開いて各地域の震災前後の様子を見比べることが出来る。60ページ、オールカラー。販売価格は1000円（税込み）。売り上げの一部は義援金として寄付する。問い合わせは三陸河北新報社事業部（電話0222-5196103221）。

写真集「ふるさと石巻の記憶」



写真-4 東北の社会資本整備講演会
(9/29・講演/徳山東北地方整備局長)



写真-5 土木の日記念行事パネル展
(11/26・パネル展示/仙台駅2階コンコース)



写真-6 東北圏広域地方計画シンポジウム
(11/28・東京都)



写真-7 東北支部学術合同調査委員会
(7/1・第二次報告会)

～ 今後の災害の備え ～ (防災エキスパート)

- 1) 日頃から非常事態に備える (ライフライン等が最悪の事態を想定)
- 2) 自己責任で活動する (自己完結型によるボランティア精神)
- 3) 迅速かつ効果的に対応するために自主参集を心がける (初動対応の迅速化)
- 4) 資材・食料・燃料等を平常時から確保する (初動対応の円滑化)
- 5) リエゾン支援における役割の把握 (自治体との連携強化)
- 6) 防災エキスパート間における連絡手段の確立 (情報の共有化)
- 7) 平常時から行政・関係機関との連携を図る (支援活動の効率化)
- 8) 計画的なローテーションによる災害対応 (長期戦における効率化)
- 9) 土地勘のある方は貴重な戦力 (TEC-FORCEとの連携強化)
- 10) 写真記録の技量が不可欠 (復旧・復興に向けたデータベース化)

防災エキスパート活動報告

その他の災害対応

《6月》梅雨前線に伴う豪雨（秋田・岩手）

■東北地方は梅雨前線の影響で6月23日から連続的な降雨になり、秋田県子吉川、雄物川上流において計画高水位、氾濫危険水位を上回る大規模出水となりました。24日には子吉川支川石沢川で堤防が決壊したため秋田河川国道事務所より要請を受けた防災エキスパート4名が、排水樋管開閉状況及び内水被害状況把握、排水ポンプ車設置指導、水防工法指導等の支援を行いました。また、25日には子吉川の堤防越水及び破堤箇所現地調査のため防災エキスパート3名が出動しました。

■北上川流域の湯田ダムと御所ダムにおいても記録的な流入量となり、24日、北上川ダム統合管理所事務所より防災エキスパート4名に出動要請があり、湯田ダム管理所及び御所ダム管理所において出水対応の支援活動を行いました。



▲ 6/25・石沢川子吉川合流点
破堤箇所



▲ 6/24・田尻排水樋管背後地
内水冠水状況

《8月》前線に伴う大雨（秋田）

■前線の影響により8月17日から秋田・山形県では局地的な大雨となりました。国道7号下り線側の北秋田市綴子地内が土砂崩落のため全面通行止めとなり、18日、能代河川国道事務所より防災エキスパート1名が出動要請を受け現地において被災状況や原因把握、復旧工法検討の支援を行いました。

■子吉川でも氾濫危険水位を超える出水となり、一部堤防漏水となりました。19日、22日には、秋田河川国道事務所より防災エキスパート2名が出動要請を受けて子吉川堤防調査の支援活動を行いました。



▲ 8/18・国道7号土砂
崩落現地



▲ 8/22・子吉川右岸石脇堤防
クラック調査状況

《9月》台風15号に伴う大雨（福島）

■台風15号北上に先立って本州付近に停滞した前線活動の活発化に伴い、東北南部は20日から連続的な降雨となり、洪水の警戒体制をとりました。21日には、阿武隈川が氾濫危険水位に達するおそれから、福島河川国道事務所の要請により、防災エキスパート2名が伏黒出張所、郡山出張所管内に出動し、現場情報収集、浸水箇所の現地調査等の支援活動を行いました。

夜間や早朝の要請にもかかわらず、出動して頂いた防災エキスパートの皆様、ありがとうございます。

防災エキスパート活動報告

平常時の活動

県別	活動内容	実施事務所・出張所 (又は実施場所)	実施年月日	参加者	
				防災 エキスパート	出張所等 職員
青 森	岩木川上流部河川巡視	藤崎出張所管内	平成23年 4月20日	11名	13名
	岩木川下流部河川巡視	五所川原出張所管内	平成23年 4月22日	10名	13名
	十和田国道維持出張所管内防災点検	十和田国道維持出張所 管内	平成23年 4月25日 4月27日	1名 1名	
	馬淵川河川巡視	八戸出張所管内	平成23年 4月28日	7名	11名
	水防工法講習会<講師>	青森河川国道事務所	平成23年 5月18日	2名	
	洪水対応演習	五所川原出張所管内 藤崎出張所管内	平成23年 5月19日	各1名	
		小川原湖出張所管内		1名	
	馬淵川水系重要水防箇所合同巡視	八戸出張所管内	平成23年 6月13日	9名	
	岩木川水系重要水防箇所合同巡視	藤崎出張所管内	平成23年 6月20日	6名	
	高瀬川水系重要水防箇所合同巡視 及び水防工法訓練<指導>	小川原湖出張所管内	平成23年 6月20日	6名	
	馬淵川水系水防工法訓練<講師>	場所:馬淵川河川敷	平成23年 6月26日	2名	
	岩木川水系重要水防箇所合同巡視	五所川原出張所管内	平成23年 6月28日	14名	
	岩木川水系水防工法訓練	場所:岩木川河川敷	平成23年 7月10日	2名	
岩 手	洪水対応演習	胆沢ダム 建設ステーション	平成23年 5月19日	1名	(机上訓練)
	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション 中間検討会	岩手河川国道事務所	平成23年 9月16日	5名	
	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション 成果報告会	岩手河川国道事務所	平成23年 9月28日	4名	
宮 城	洪水対応演習	名取川出張所管内	平成23年 5月19日	1名	(机上訓練)
秋 田	洪水対応演習	秋田河川国道事務所 洪水対策本部	平成23年 5月19日	1名	
		十文字出張所管内 大曲出張所管内		各1名	
		鷹巣出張所管内 二ツ井出張所管内		2名 2名	(机上訓練)
	子吉川重要水防箇所合同巡視	秋田河川国道事務所	平成23年 6月 1日	3名	
	雄物川下流重要水防箇所合同巡視	秋田河川国道事務所	平成23年 6月 3日	3名	
	雄物川上流維持管理計画検討会	湯沢河川国道事務所	平成23年 6月10日	2名	10名
	東北地方整備局総合防災訓練	二ツ井出張所管内 鷹巣出張所管内 大館国道出張所管内 能代国道維持出張所管内	平成23年 9月 1日	1名 2名 2名 2名	(机上訓練)
	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション 検討会<講話・アドバイス>	湯沢河川国道事務所	平成23年 9月21日	4名	
	第2回河川管理検討会<講話>	能代河川国道事務所	平成23年10月 5日	1名	20名
米代川流域内合同危機管理演習 <評価者>	場所:二ツ井伝承ホール	平成23年10月 6日	3名		

県別	活動内容	実施事務所・出張所 (又は実施場所)	実施年月日	参加者	
				防災 エキスパート	出張所等 職員
山 形	第1回若手技術者現地研修会 ＜技術アドバイス＞	新庄国道維持出張所管内	平成23年 5月10日	2名	12名
	洪水対応演習	寒河江出張所管内 長井出張所管内 南陽出張所管内	平成23年 5月19日	各1名	
		鳥越出張所管内 赤川砂防出張所管内		各1名	
		酒田出張所管内 飽海出張所管内 赤川出張所管内		各1名	
	高島町・川西町合同水防講習会 ＜講師＞	南陽出張所管内	平成23年 5月29日	3名	
	最上川上流における堤防決壊時の緊急 対策シミュレーション＜指導・助言＞	山形河川国道事務所	平成23年 8月12日	4名	20名
	東北地方整備局総合防災訓練	山形河川国道事務所 災害対策室	平成23年 9月 1日	1名	
		寒河江出張所管内		2名	(机上訓練)
	水防技術講習会講師事前打合せ	(社)東北建設協会 山形支所	平成23年 10月20日	8名	3名
平成23年度水防技術講習会＜講師＞	場所:最上川右岸河川敷	平成23年11月 6日	8名		
鮭川流域大規模土砂災害 危機管理演習	場所:真室川町民総合体育館	平成23年11月15日	4名		
福島	洪水対応演習	摺上川ダム管理所管内	平成23年 5月19日	2名	(机上訓練)



馬淵川水系水防工法訓練における指導状況
(6/26・馬淵川河川敷)



洪水対応演習の様子
(5/19・秋田河川国道事務所洪水対策本部)



洪水対応演習の様子
(5/19・酒田出張所)



水防技術講習会における指導状況
(11/6・最上川右岸河川敷)

“防災エキスパート研修会”開催状況

秋田県ブロック

＜開催ブロック＞ 秋田県管内全体

開催日：平成23年 11月22日(火)

会場：秋田パークホテル（秋田市内）

参加者：整備局側 26名〔秋田河川国道事務所長ほか〕
防災エキスパート 31名

研修内容

- 管内各事務所からの情報提供
- 現地活動体験報告
- 大規模災害時の初動について
- 意見交換



現地活動報告（石塚氏）



現地活動報告（鹿子沢氏）



意見交換の様子



意見交換の様子

編集 後記

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返ると東日本大震災による太平洋沿岸地域の甚大な被害、台風の襲来や観測史上最多雨量を記録した大雨による土砂災害など、東北地方は大災害に見舞われ、多くの防災エキスパートの方々にご協力を頂いた一年でありました。

今号は、復旧・復興支援の取り組み状況と平成23年度防災エキスパート活動についてご紹介致しました。

事務局では、今後も東北地方の復旧・復興に貢献していく所存ですので、皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、新年が良い一年となることをお祈り申し上げます。

防災エキスパート事務局（地域事業部） 記

TEL 022-268-4711/FAX 022-211-9534

mail : bousai@kyokai.or.jp